

現場訪問

令和4年度小禄道路橋梁下部工(P22U、P22D)工事
施工IIオパス株



土留・仮締切作業の様子

ヤマ場乗り越え無事故・無災害で完成を目指す 最新技術導入で生産性向上図る

事を進めています。立地上、海が近く水位が高いため、土留・仮締切を施して作業を行っています。

— 進捗について —
宮城 現在の進捗率は25%で、日によって現場に入る人数は異なりますが、本日は8人体制で作業を進めています。現在P22Uの土留・仮締切工事を行っており、オーガーで掘削し鋼矢板を圧入する作業を進めています。今後の作業では、4・0程度まで掘削し、場所打ち杭工事、フーチング工事、柱躯体工事、梁工事を行い、来年1月に完成する予定です。P22Dについては周辺工区の設備関係の都合で、工事の一時中止となっておりますが、11月頃には着工できる見通しです。

— 工事のヤマ場は —
宮城 11月から12月にかけて柱の躯体工事を行うためヤマ場となる見込みです。この時期には、作業員を増員しながら作業を進めるため、安全面にはより一層、配慮していきたいと思えます。

— 最新技術の導入について —
宮城 当現場は3次元モデルなどICT技術を導入したモデル事業を実施しています。現場管理や施工計画などに活用し生産性の向上に向け取り組んでいます。またVRを活用した安全教育も行っています。VRでは工事現場におけるあらゆるシチュエーションの事故を体験でき、安全対策の重要性の理解促進や事故防止に向けた課題解決に一役買っています。

— 完成に向けて —
宮城 無事故・無災害で竣工を迎えることを第一の目標に、工程の遅れがないよう工事を進めていきます。

豊見城市瀬長では「令和4年度小禄道路橋梁下部工(P22U、P22D)工事」が進んでいる。周辺環境は交通量が多く、他工区も隣接している厳しい条件のもと、着々と工程をこなす。現在は橋脚P22Uの基礎工事に取り組みしており、来月には柱躯体工事着手しヤマ場を迎えるため、安全対策の徹底が求められる。同現場の施工を担当するオパス株の宮城健太郎作業所長に進捗などについて聞いた。

— 現場の特徴について —

宮城 現場は交通量の多い道路に隣接しているため、一般車両への安全確保を十分に行いながら工事を進めています。現場周辺では他工区が工事を進めているため、必要に応じて工程を調整しながら工

事を進めています。立地上、海が近く水位が高いため、土留・仮締切を施して作業を行っています。

— 進捗について —
宮城 現在の進捗率は25%で、日によって現場に入る人数は異なりますが、本日は8人体制で作業を進めています。現在P22Uの土留・仮締切工事を行っており、オーガーで掘削し鋼矢板を圧入する作業を進めています。今後の作業では、4・0程度まで掘削し、場所打ち杭工事、フーチング工事、柱躯体工事、梁工事を行い、来年1月に完成する予定です。P22Dについては周辺工区の設備関係の都合で、工事の一時中止となっておりますが、11月頃には着工できる見通しです。

— 工事のヤマ場は —
宮城 11月から12月にかけて柱の躯体工事を行うためヤマ場となる見込みです。この時期には、作業員を増員しながら作業を進めるため、安全面にはより一層、配慮していきたいと思えます。

— 最新技術の導入について —
宮城 当現場は3次元モデルなどICT技術を導入したモデル事業を実施しています。現場管理や施工計画などに活用し生産性の向上に向け取り組んでいます。またVRを活用した安全教育も行っています。VRでは工事現場におけるあらゆるシチュエーションの事故を体験でき、安全対策の重要性の理解促進や事故防止に向けた課題解決に一役買っています。

— 完成に向けて —
宮城 無事故・無災害で竣工を迎えることを第一の目標に、工程の遅れがないよう工事を進めていきます。

プロフィール
オパス株 宮城 健太郎氏
1975年生まれの48歳。
大宜味村出身。辺土名高校卒業。オパスに入社して30年、これまで県内の土木工事に数多く従事してきた。モットー

は「凡事徹底」。

作業所長
宮城 健太郎氏

【工事概要】
工期：2023年4月10日～24年3月12日
発注者：沖縄総合事務局南部国道事務所
那覇空港自動車出張所
工事内容：道路土工1式、RC橋脚工(P22U)1式、RC橋脚工(P22D)1式、仮設工(土留・仮締切工)1式、磁気探査